

BOUNCE iBeacon
クラウドソリューション

BOUNCE株式会社

iBeaconとは？

「ビーコン」に近づいたスマートフォンに情報をプッシュ通知する仕組みです。



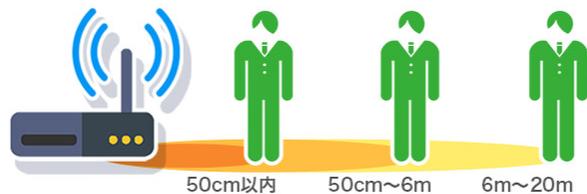
iBeaconとNFC※の違い

iBeaconはユーザーがビーコンに近づくだけで情報のプッシュ通知が可能です。

NFCはユーザーからの「かざす」という能動的な行為が必要です。

※NFC（近距離通信）：Suica、おサイフケータイなどで使用されている、数cm～10cm程度の範囲での非接触通信を可能とする技術です。

ビーコンとの距離の判別が可能※



※ビーコンとスマートフォンの距離の判別も可能です。ただし、判別に時間が必要なため、判別中に通り過ぎてしまう可能性もあります。

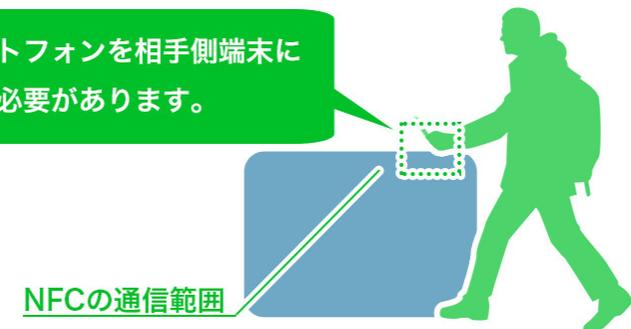
iBeaconの場合

ビーコンとの距離が離れていても情報の受信が可能です。



NFCの場合

スマートフォンを相手側端末にかざす必要があります。



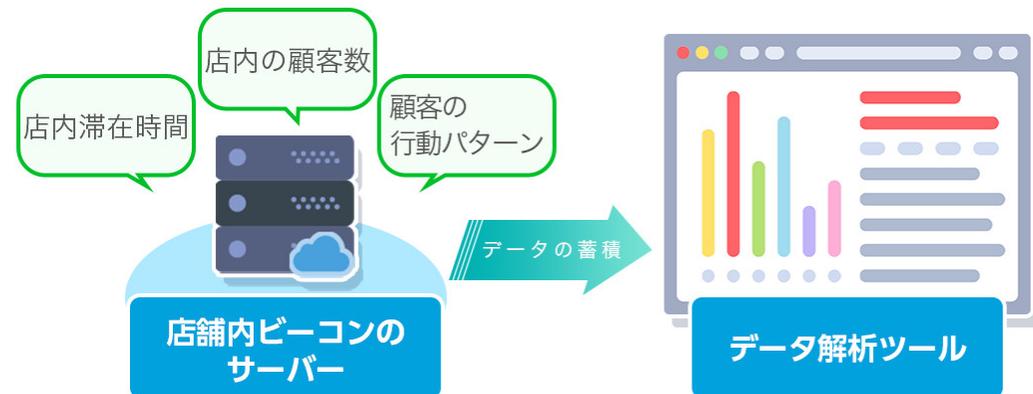
iBeaconでできること

- ビーコンから数メートルの範囲に入ったユーザーのスマートフォンへプッシュ通知で情報を表示。
- iBeaconを受信したユーザー情報の記録と分析が可能。

顧客のスマートフォンへ直接情報発信可能



解析ツールを利用したデータの分析が可能



iBeaconのしくみ

iBeaconではビーコンを店舗やイベントブースなどに設置することで、顧客のスマートフォンと通信を行い、様々なマーケティングへの活用が可能となります。

- 店舗などに設置されたビーコンは、アプリの入っているiBeacon対応スマートフォンと通信を行います。
- ビーコンを感知したスマートフォンは、ビーコンのIDに対応した情報をサーバーから取得します。
- ビーコンごとに異なるIDを発信できるので、ビーコンごとにアプリ側の対応を変更できます。

iBeaconの基本的なしくみ



ビーコンごとに異なるIDの割り振り可能



IDごとに異なる情報のプッシュ通知が可能です。

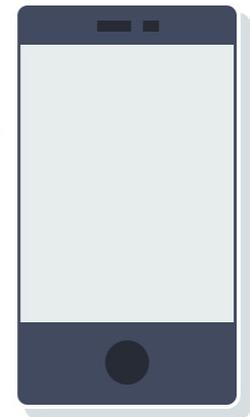
iBeaconの制限

- iBeaconのしくみを利用して情報を配信するためには、顧客のスマートフォンにアプリをインストールしてもらわなければなりません。専用のアプリの開発とインストールしてもらうための施策が必要となります。
- iBeaconはスマートフォンに搭載されている「Bluetooth」の機能を利用します。そのため、顧客のスマートフォンのBluetooth機能が有効になっていることが必要です。Bluetooth機能はスマートフォンの充電電池を消費するため、これを無効にしているユーザーも少なくありません。

専用アプリのインストールが必要です。



「Bluetooth機能」が有効でなければいけません



BOUNCE iBeaconクラウドソリューション

1. ビーコンの検知範囲に入ったらプッシュ通知で情報を配信

(ユーザー属性による情報の出し分けが可能)

端末の状態

スリープ中	PUSH通知から起動	アプリ起動中
PUSH通知 (テキストメッセージ)	URLをブラウザで 自動的に表示	URLをブラウザで 自動的に表示

2. 近接ビーコンにスマートフォンをかざしてポイント付与

3. KPIをサーバーへ記録

PUSH通知のログ、時間帯別通知数、アプリに記録された個人情報、アプリ起動回数など

4. サーバーからのプッシュ通知

(ビーコンとは関係なくアプリに通知)

当ソリューションに関するお問い合わせはお気軽にどうぞ

info@bounce-inc.jp

BOUNCE株式会社

<http://bounce-inc.jp/>

〒108-0074 東京都港区高輪1-2-16 5F